学校番号	309

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	リンク数学演習Ⅰ＋A(a+b+c)　受験編 解答編　(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題演習を中心とした授業をする。生徒の理解度により解説をし、数学Ⅰおよび数学Ａを中心とした指導をする。

2　学習の到達目標

・教材(数学Ⅰ、数学A)の例・例題の基本的な内容を定着させる。
・基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ・A における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの理解を深め、知識を身に付け、また問題演習を通して、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	問題演習を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	問題演習を通して、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学Ⅰ	数と式	a：単項式や多項式，同類項，次数など式に関する用語を理解するとともに，多項式の加法，減法の計算ができる。 b：式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している。式を１つの文字におき換えることによって，式の計算を簡略化することができる。 c：単項式，多項式とその整理の仕方に関心をもち，式の変形，整理などの工夫において，よりよい方法を考察しようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りｼｰﾄ 提出ノート
	数学Ⅰ	集合と命題	a：命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解しており，それらの真偽を調べることができる。 b：命題が偽であることを示すには，反例を１つあげればよいことが理解できている。 c：直接証明法では難しい命題も，対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち，実際に証明しようとする。			
	数学Ａ	場合の数と確率	a：確率の意味，試行や事象，積事象，和事象の定義を理解するとともに，和事象，余事象の確率の求め方がわかる。 b：不確定な事象を，同様に確からしいという概念をもとに，数量的に捉えることができる。 c：具体的事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとする。			

2	数学Ⅰ	2次関数	a: 2 次方程式の解き方として, 因数分解, 解の公式を理解している。また, 2 次不等式, 2 次の連立不等式を解くことができる。 b: 2 次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 c: 2 次関数のグラフと x 軸の位置関係を調べ, その意味を探ろうとする	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りシート 提出ノート
	数学A	図形の性質	a: 線分の内分・外分，三角形の外心，内心，重心の定義，性質などの基本事項を理解している。また，円周角の定理と円周角の定理の逆を理解している。 b: チェバの定理，メネラウスの定理について，論理的に考察し，証明することができる。 c: 相似を利用した方べきの定理の導き方に興味・関心をもつ。また，2 つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。			
	数学Ⅰ	図形と軽量	a: 余弦定理や正弦定理を用いて，外接円の半径，三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 b: 三角形の面積を，決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。 c: 正弦定理，余弦定理の図形的意味を考察する。また，日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。			

3	数学Ⅰ	データの分析	a: 範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し，それらを求めることができる。また，データの散らばりを比較することができる。 b: 変量の変換によって，平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することができる。 c: 身近な事柄において，仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りｼｰﾄ 提出ﾉｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度